

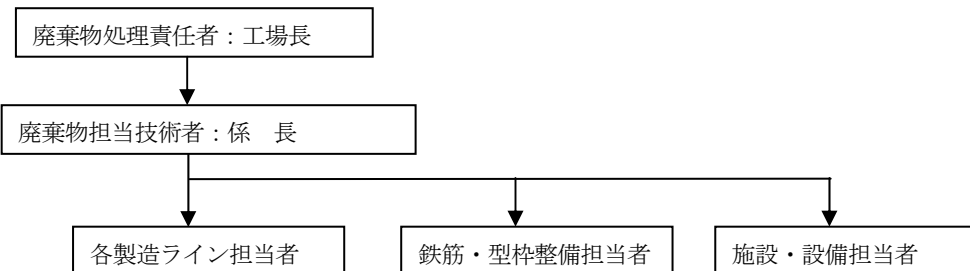
様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
平成24年 6月29日	
愛知県知事 殿	
提出者 住 所 岐阜県羽島市福寿町間島1518 氏 名 株式会社丸栄創造 代表取締役 棚橋 肇 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 058-393-0211	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社丸栄創造 愛知工場
事業場の所在地	愛知県新城市作手黒瀬11-1
計画期間	平成24年4月1日～平成25年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	21 窯業・土石製品製造業
②事業の規模	25,118万円
③従業員数	14名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添資料

(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項		
<p>(管理体制図)</p>  <pre>graph TD; A[廃棄物処理責任者:工場長] --> B[廃棄物担当技術者:係長]; B --> C[各製造ライン担当者]; B --> D[鉄筋・型枠整備担当者]; B --> E[施設・設備担当者];</pre> <p>廃棄物処理責任者:各工場長が選任し、当該工場の産業廃棄物を清掃法に従って、産業廃棄物の適正化を図る。</p> <p>廃棄物担当技術者:廃棄物処理責任者を補佐し、産業廃棄物の適正処理を指導する。</p>		
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項		
①現状	【前年度(平成23年度)実績】	
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず 混合物
	排出量	1463 t 8 t
	(これまでに実施した取組) ① 長期在庫の削減 ② 不適合品の削減 ③ 5S活動による無駄な在庫削減	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず 混合物
	排出量	1400 t 8 t
	(今後実施する予定の取組) ① 標準製品のワイヤーソーカットによるカット削減 ② 長期在庫削減強化 ③ 不適合発生品の削減強化 ⑤ 5S活動による無駄な在庫削減強化	
産業廃棄物の分別に関する事項		
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ①分類区分(コンクリートくず、混合物) ②分類に冠する取り組み(置き場の区分)	
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ①分類区分の徹底	

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（平成23年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	混合物
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 取組はなし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	混合物
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 今後も取組の予定はなし		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（平成23年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	混合物
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 取組はなし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	混合物
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 今後も取組の予定はなし		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（平成23年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	混合物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 取組はなし。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	混合物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 今後も取組はなし。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（平成23年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	混合物
	全処理委託量	1463 t	8 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	1463 t	8 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ①長期在庫の削減 ②不適合品の削減 ③5S活動による無駄な在庫削減		

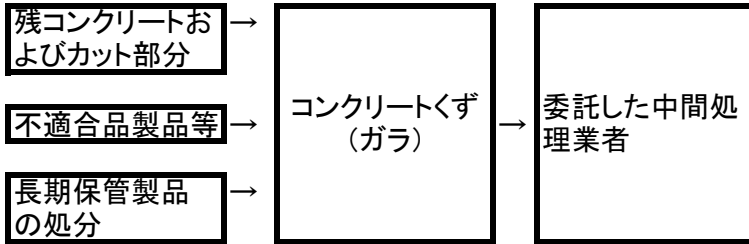
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	1400 t	8 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	1400 t	0 t
	再生利用業者への 処理委託量	0 t	8 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ①標準製品のワイヤーソーカットによるカット削減 ②長期在庫削減強化 ③不適合発生品の削減強化 ④5S活動による無駄な在庫削減強化		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙 産業廃棄物の一連の処理工程

コンクリートくず(ガラ)の発生



廃プラスチック・混合物

